

事務事業 No./名称	□サービス部門 文財-01 文化・教養施設管理事業 ■支援部門						
主管課	文化財課	関連課					
分野名	歴史環境・文化						
目標 (目標値)	野村総研跡地を適切に管理し、一般開放等により市民サービスの向上を図る。 (文化・教養施設整備事業は、経営企画課で作成)						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考		
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
運営資源 状 態	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
	事業の対象者数						
	決算値(千円) (国・県)	7,577	7,392	8,175			
	(負担金等)	960					
	(一般財源)	6,617	7,392	8,175			
	人員配置数	0.6	0.6	1.0			
	人件費(千円)	5,153	5,251	8,848			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	12,730	12,643	17,023			
	市民1人当たりの経費(円)	72	71	96			
	対象者1人当たりの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
敷地の一般開放	△	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
○目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	週5日	週5日	週5日		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
文化・教養施設管理事業	7,577千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○ ⇒ □A ■B □C □D □E	
事業の概要			敷地及び建物の維持管理に努めた。跡地を一般開放し、市民に跡地の良好な自然環境やスポーツを体験してもらうとともに、子育てグループや保育園などの行事の利用に供した。
	①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 ⇒ □A □B □C □D □E		
事業の概要			
	①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 ⇒ □A □B □C □D □E		
事業の概要			
	①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 ⇒ □A □B □C □D □E		
事業の概要			
	①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性 ⇒ □A □B □C □D □E		
事業の概要			

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	建物の老朽化が進行し、建物の一部に崩落の可能性がある箇所が発生している。
課題解決のための取組	当面は、該当区域の立ち入りを禁止し、市民の安全を確保しているが、今後は撤去等の検討が必要である。
未解決の課題	たけのこの乱獲により、竹林の荒廃が進行している。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価 →	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の 方向性 竹林が再生するまでは、市民の立入を一部制限し適正に竹林を保存していく。	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
				↓	課長等名
				B	課長(代理)
					宇高 翔

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
文化・教養施設 管理事業	主な個別事業	1113 入退場管理等業務委託料 1113 機械警備業務委託料 1113 仮設トイレ清掃業務委託料 1113 芝刈り及び除草等業務委託料 1113 樹木枝払い等業務委託料	3,848 1,039 251 1,704 410	3,848 1,039 251 1,704 246	■適切 □見直し余地あり ■適切 □見直し余地あり ■適切 □見直し余地あり ■適切 □見直し余地あり ■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり